

活性化モデル商店街の概要

商店街名：栄町商店街振興組合

●キャッチフレーズ

ベルギーを始めとした国際文化の発信拠点

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・ 商店街エリア内には百貨店を始めとした商業施設が集積する一方で、飲食店、金融機関、企業のオフィスなどが立地しており、生活・娯楽・交流の場として、日々あらゆる層の人々が行き交っている。
- ・ 名古屋市の一大繁華街である栄地区の中心に位置し、市内外から幅広い年代の人々を集客する広域型商店街である。

【課題】

- ・ 名古屋駅前エリアにおいては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同エリアへの一極集中による栄地区の集客力低下の可能性が懸念されている。
- ・ 子どもやその家族を中心とした、ファミリー世代の集客が課題となっている。

【対策】

商店街を国際文化の発信拠点として位置づけることで、集客力を高める取組みを行う。

- ・ 姉妹提携したベルギーのルイーズ商店街との国際交流事業を、広小路夏まつり及びベルギー国王来日の時期に合わせ実施し、また、ハロウィンをテーマとした文化祭を秋に開催するなど、国際文化の発信により、商店街のにぎわいを創出し集客力を高める。
- ・ ハロウィンをテーマとした小学生絵画コンクールや、子供向けのハロウィンイベントを実施し、ファミリー世代の来街を促す。

◎具体的に取組む事業内容

○栄町国際文化発信事業（28年度～32年度）

- (1) ルイーズ商店街との国際交流事業 (2) 広ぶら芸ぶら文化祭の開催 (3) 小学生絵画コンクールの実施 (4) クリスマスをテーマとしたフラッグ装飾の実施

○広小路夏まつり

広小路通を歩行者天国にして、大規模なパレードや様々なステージイベント等を展開